東京女子学園中学校高等学校

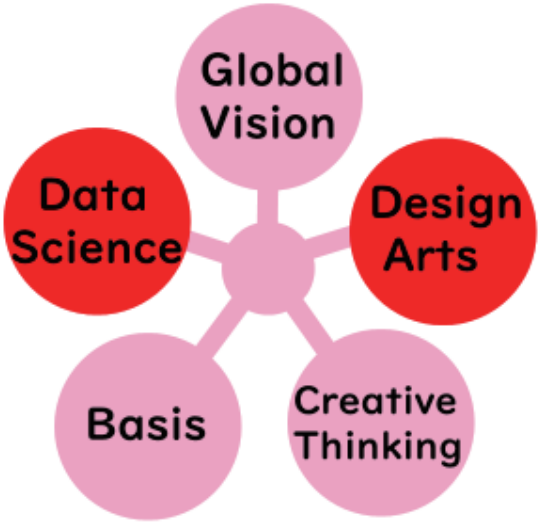
DSDAって何？

TOKYO JOSHI GAKUEN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

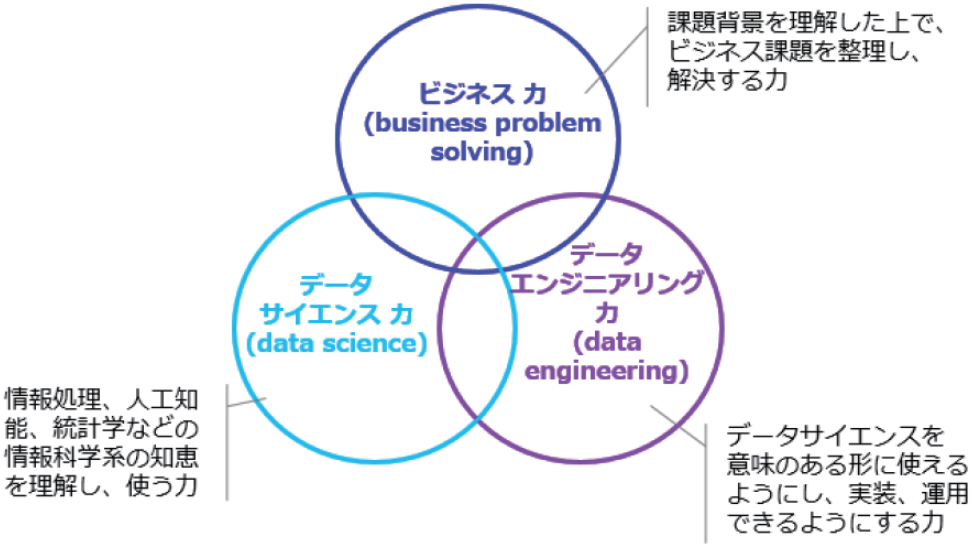
Q1 DSDA (Data Science, Design & Arts) って何ですか？

東京女子学園の 5 つのスキルの腕のところです。

まずは左腕のData Scienceから説明します。



中学や高校で習う確率や統計（統計の歴史）から出発してデータのもつ力を解き放つ科学です。データをうまく加工してビジネスに役立てることができます。ネットで気軽に商品を検索して購入できるのも、顔認証や自動車の自動運転などもData Scienceのおかげです。図のように三つの分野が融合して新しい社会を創造します。



Q2 難しすぎます。

安心してください。プロの話です。

上の図はデータサイエンティストと呼ばれるプロの人たちが目指す世界です。大学での授業や各種のプログラム講座を受講して勉強します。学園ではプロを目指すのではなく、データサイエンスのリテラシーを学びます。

Q3 リテラシーってなんですか？

いろんなリテラシーがあります。

例えばコンピュータ・リテラシーというと、PCやスマホを上手に正しく使えて、それを使ってプレゼンができ、WordやExcelといったアプリを使いこなす能力です。メディア・リテラシーといえばSNSなどの多様なメディアから流れてくる情報を正しく理解し、活用する能力のことです。データサイエンス・リテラシーと言えば、身の回りにあるデータに気づき、正しく理解し、活用すること、そしてAIなどにデータサイエンスが使われている仕組みを理解することです。

Q4 易しいですか？

ホームページの実例を見てください。楽しく学べます。

Q5 右腕のDesign & Arts は？

創造力と感性を養います。

Designと言うと、グラフィックや服飾やインテリアのデザイナー、建築家などを思い浮かべるかと思います。近年デザインの意味は広くなり、目標を実現するための構想や計画における創意工夫のことです。したがって都市設計や政策提言などもデザインです。要は創造力です。そして土台となるのが美しさの感性です。それがArtsです。

Q6 政策提言にアートですか？

そこがポイントです。

アート作品を使った村おこしや各種の地域芸術祭などは直接アートを使った文化政策ですが、一般的にも公共政策をデザインするにはアートが必須になっています。また近年ビジネスでもアート思考が話題となっています。シリコンバレーのイノベーターの多くがアートに触れていました。アート作品に触れること、アート作品を創作すること、このことがビジネスにおける創造力を養うのです。

［ルイーズ・ブルジョワ『ママン』(Photo: Cowardlion/Dreamstime)］
東京のパブリックアート六本木ヒルズ

［「髪梳ける女」橋口五葉（1920）］
Steve Jobs は 28 歳の時にこの版画を購入。
その後、新版画 43 点を収集する。

最後に DSDA。

ICT社会に適応するグローバル人材、特に理系人材を教育するシステムとしてSTEM教育（Science,Technology, Engineering, Mathematics）が世界で広まっています。近年はこれにアートを加えてSTEAM が注目されています。技術だけで幸せな社会を構築するのは不安で、芸術の本質である「何を美しいと感じるか」の感性が必要なのです。これらの教育システムはどちらかというと理系よりのシステムです。本学園のDSDAはこれをもっと広げたもの、データサイエンスを軸に文理融合した、未来社会を創造する新しい教育システムです。